

2024年ブロンテ・デイ公開講座プログラム

リーズ土産として木製の兵隊人形12体を父親のパトリック・ブロンテが子どもたちに与えた1826年6月5日からブロンテ文学が始まったとされています。この6月5日に近い6月の第1土曜日を日本ブロンテ協会は、本国イギリスの協会と歩調をあわせブロンテ・デイとし、専門家のみならず一般愛読者も集い、ブロンテ文学を愉しみ、味わうことにしています。本講座はその行事の一つであり、ブロンテ愛好者であれば十分愉しめる講座となっております。

日時： 2024年6月1日（土）14時00分～16時10分

会場： 早稲田大学戸山キャンパス 38号館 AV教室1

受付： 13:40

司会： 立正大学教授 大野 龍浩

開会の辞： 14:00 大東文化大学名誉教授 栗栖 美知子

講演Ⅰ： 14:05～15:00

演題：19世紀のイギリスにおける博物学・花言葉の流行と、ブロンテ姉妹の小説に見られる花の象徴的な意味について

近畿大学准教授 菟原 美和

博物学や花言葉が流行した19世紀のイギリスで書かれたブロンテ姉妹の小説には、様々な植物が登場する。当時の花言葉の本や姉妹の小説に出てくる花を写真付きで紹介するとともに、姉妹の小説に登場する花にこめられた象徴的な意味について考える。

休憩： 10分

講演Ⅱ： 15:10～16:05

演題：『嵐が丘』の文学装置

元近畿大学教授 清水 伊津代

『嵐が丘』は、語り手の支配するテキストの全体が、現実と非現実の不透明な境界域を描出している小説である。『嵐が丘』の語りや異界創造のレトリックを読み解き、幻想という文学装置が可能とするメッセージについて説明する。唐十郎の戯曲『少女仮面』（1969年早稲田小劇場で初演）における『嵐が丘』解釈にも言及する。

閉会の辞： 16：05

青山学院大学名誉教授 橋本 清一

■受講対象者： 協会員、ブロンテ文学に興味のある方、一般の方、学生

■受講料： 無料

■申込（参加登録）方法： 日本ブロンテ協会ホームページ（<http://brontesociety.jp/>）内にリンクのあるオンラインフォームで、4月26日（金）から5月24日（金）までに参加をお申し込みください。（期日は厳守）

■主催： 日本ブロンテ協会

社会状況により開催形態を急遽変更する場合があります。最新情報を協会ホームページにてご確認ください。

皆様お誘いあわせの上奮ってご参加ください。